

石坂ファーム 石坂寿浩さん

スマート農業とは?

ロボットやAI(人工知 能)、IoT (モノのインタ ーネット) など先進技術 を活用する農業。深刻な 担い手不足の中、省力化 や負担軽減



農業体験しませんか?

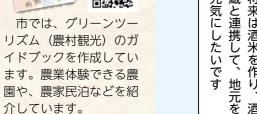
旭川市民農業大学

農作業・農産加工を体 験し、農村文化に触れ、 農業者と市民が一緒に旭 川の農業や食について考 えます。

子ども農業体験塾

市内の小学4~6年生 が、田植えや稲刈り、果 樹の収穫や酪農を体験。 秋には料理を作って食べ る収穫祭もあります。





植え機とトラクターにGPSを搭載し、 ■■ 運転席のモニターで進路や位置を見 て作業しています。約5年前、市の助成で GPSの基地局が設置されたことを機に、効 率化のため導入しました。

田植えでは数百m先まで見通して真っす ぐ進み、苗の植付けをチェックすることが 必要です。約46ヘクタールの水田があり、 短期間で田植えを行いますが、自動操舵も できる田植え機は、GPSのおかげで定規で 線を引くように走れ、以前と比べ操作も簡 単になりました。私が体調不良のときには、 従業員が作業することもあります。

田起こしに使うトラクターは、作業機の 幅が広く、デに接触しないように周囲を確 認しながら作業するのが難点でした。それ もGPS機能により、従業員はどこを走行し ているか一目で分かるため、安全に運転で きるようになり、教える時間も減少しまし た。暗くても雨天でも作業できます。

今は人手不足で一戸当たりの作付面積が 年々増加し、生産者の負担も増えています。 スマート農業で効率化できれば、自分の時 間もつくりやすいと思います。

加農業高校では、生徒自ら栽培した 洒米を使った洒造りに挑戦していま 酒米を使った酒造りに挑戦していま す。市内の老舗「髙砂酒造」や、米作りの プロなどと一緒に取り組む「旭農高日本酒 プロジェクト」です。

同校での酒米生産は初めて。寒さに強い 「きたしずく」の種をまきハウスで育て、 校内にある3,750㎡の水田に植えました。 今夏の厳しい暑さの中、稲の管理を徹底。 順調に成長し、一等米の評価を得ました。

生徒たちは四合瓶4,000本分を予定する 醸造の一部や、ラベルデザインを体験。酒 約の加工品開発も手掛けます。 完成したお 酒は、生徒が20歳になると贈られます。

高校生の酒米で 新しい日本酒を

スゴイ!

スマート農業で

効率化



プロジェクトに挑戦する生徒たち

より、 地元をじり、酒



羽根有哉さん囡、伊藤蒼良さん

携や新技術で、 いです。地域にいいお酒になっ たいです 地域との





伏流水と盆地が 育む「米どころ」

大雪山からの伏流水と 盆地特有の寒暖差で、お いしい米が育ちます。令 和2年産の作付面積は道 内2位、収穫量は道 内1位でした。



首都圏でも人気 「江丹別そば

作付面積

市内の主なソバ産 地は江丹別です。製 粉工場で挽きたての ソバを首都圏へ直送 し、高く評価されて います。





都市近郊型の

多彩な野菜作り

少量・多品目が特

徴で、市内の栽培品

目は約60に上ります。

旭川の農業は

ここがスゴイ

豊かな自然で育った旭川の農作物には、全

国に誇れる品質や収穫量、多様さがあります。

先進技術で挑戦する農家や、丹精して酒米を

育てる高校生、担い手の個性も光ります。旭

川の農業の魅力を紹介します。

【詳細】農政課 625・7417

チンゲンサイ 出荷量 全道





「クリーン農産物」は道内最多

農薬や化学肥料を減らすなど、環境に 配慮した農産物を、北海道が「北のクリ ーン農産物表示制度 (YES!clean)」で 認証します。市内では、道内最多の17品 目・19集団が認証されています。

【詳細】農業振興課 625・7438



安全・安心!

北海道安心ラベル

旭川産の野菜を食べよう

旭川青果連ではロゴマークを統一 し、品目ごとに異なる動物のイラス トを旭川産野菜のパッケージに印刷 しています。新鮮で旬な地元の野菜 を、ぜひお買い求めください。

【詳細】農業振興課 25・7438



